

図画工作科 学習指導案

I 題 材 ふくらみつく ラブ

II 考 察

1 題材観

(1) 育成を目指す資質・能力の三つの柱

③学びに向かう力、人間性等

自分から工作に表す活動に取り組み、自分のつくりたいものを試行錯誤してつくりだす喜びを味わうとともに、身近な材料や動く仕組みなどにつくりながら関わり、自分なりに工夫してつくることを楽しむ態度。

①知識及び技能

膨らむ動きや、材料の形や色、大きさ、強さについて、自分の感覚やつくることを通して分かるとともに、繰り返し手で触ったり口で空気を吹き込んだりしながら、切り方や接着の仕方を自分なりに工夫して表す力。

②思考力・判断力・表現力等

膨らむ動きの面白さや、動きの生かし方、材料の組合せ、加工の仕方について考え、自分のつくりたいもののイメージを膨らませる力。

図画工作科の「見方・考え方」

感性や想像力を働かせ、仕組みの動き、材料の形や色、大きさ、強さについて捉え、自分のイメージをもちながらつくること。

(2) 学習内容：学習指導要領上の位置付け

A表現

- (1)イ 絵や立体、工作に表す活動を通して、感じたこと、想像したこと、見たことから、表したいことを見付けることや、表したいことや用途などを考え、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えること。
- (2)イ 絵や立体、工作に表す活動を通して、材料や用具を適切に扱うとともに、前学年までの材料や用具についての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表すこと。

(3) 題材の価値

本題材は、空気を送って膨らむ仕組みを生かしたおもちゃを思い付き、自分のつくりたいイメージに合わせて仕組みをつくったり、組み合わせたりして工作に表す学習である。その価値は以下のとおりである。

材料の加工が容易なため、自分のつくりたいおもちゃのイメージに合わせて、材料を組み合わせたり、切ったり貼ったりして、自分なりにつくり方を工夫してつくることができる。

また、空気を送って膨らむ仕組みが単純な構造のため、繰り返し膨らみ方を試しながら、自分のつくりたいおもちゃを思い付くことができる。そして、材料の大きさや形などを選択することで、様々な膨らみ方の面白さを見付けることができる。

さらに、空気を送って膨らむ仕組みは、今までに経験のある手を使って動かす仕組みと違い、口から空気を送って膨らむ仕組みであるため、動きの不思議さや面白さに着目して、つくりたいものを自分で明確にしながら、つくり方を自分なりに工夫して、つくることを楽しむことができる。

以上のことから、本題材は、子どもの興味関心を引き、具現化の工夫の選択肢が多いため、子どもが自分の思いを試行錯誤して具現化することを楽しむことができ、多様な表現を促すことができる。

本題材で扱う教材の価値は、以下のとおりである。

空き箱は、生活の中で身近な材料であるため、仕組みの動きを生かしたつくりたいもののイメージに合わせて、家庭から集めたり、友達と交換したりして使う材料を自分で選択してつくることができる。また、様々な形や色、大きさがあるため、空き箱の形や色、組み合わせなどからつくりたいもののイメージを膨らませることができる。

ビニール袋は、口の部分が広いため、ストローを接続する際に、空気が抜けないように加工の仕方を工夫する必要があり、目的に合ったつくり方の工夫を促すことができる。また、様々な形や大きさ、厚さがあるため、自分のイメージに合った膨らませ方に合わせて、ビニール袋を選択してつくることができる。

色紙は、加工がしやすいため、飾りをつくる際に、切る、折る、貼るなどのつくり方を、自分自分のつくりたいものに合わせて、選択したり組み合わせたりして、自分なりの作り方の工夫を促すことができる。

(4) 今後の学習

ここでの学習は、6年「どんな動きをするのかな」で、クランクで動きを生かしたおもちゃを思い付き、自分のつくりたいイメージに合わせて仕組みをつくったり、組み合わせたりして工作に表す学習へと発展していく。

(5) 共通事項との関連 ※指導と評価の計画参照

2 児童の実態及び指導方針

子どもたちは、4年「コロコロガーレ」において、ビー玉が低い方に向かって転がる仕組みを生かして、空き箱を組み合わせたり、接着方法を工夫したりして、工作に表す学習をしてきた。この学習の中で明らかになった子どもたちの実態及び本題材を進めるにあたっての指導方針は、次のとおりである。

- ① 自分のつくりたいビー玉の転がり方に合わせて、空き箱を組み合わせたり、接着の方法を選択したりして工夫してつくることができた。このような子どもたちが、自分のつくりたいおもちゃのイメージに合わせて、自分なりのつくり方の工夫ができるよう、自分でつくり方を選択できる加工の容易な空き箱、ビニール袋、ストローを教材として設定する。
- ② 空き箱を組み合わせる実際にビー玉の転がし方を試しながら、自分のつくりたい転がし方のイメージを膨らませることができた。このような子どもたちが、膨らむ動きを生かし方を具体的に思い付くことができるよう、空気を送って膨らむ仕組みを自力で開発する活動を設定する。
- ③ ビー玉が低い方に向かって転がる仕組みを生かした、自分のつくりたいおもちゃをつくることを

楽しめた。このような子どもたちが、膨らむ仕組みを生かした自分のつくりたいおもちゃを、つくり方を自分なりに工夫して、つくることを楽しむことができるよう、膨らむ仕組みが見えないようにつくった動く仕組みの参考作品を用意する。

Ⅲ 目標及び評価規準Ⅳ 指導計画

※Ⅲ・Ⅳについては、指導と評価の計画参照

V 本時の学習

- 1 ねらい 自分がつくりたいおもちゃに合わせて、膨らみ方を試したり、切り方や接着の仕方を選択したりして、自分なりに工夫してつくる。
- 2 準備 空き箱 色紙 ビニール袋 ストロー 学習プリント
- 3 図画工作科の「見方・考え方」を働かせて協働的に学ぶ姿
自分がつくりたいおもちゃに合わせて、膨らみ方を試したり、友達と見合ったり、飾りを見直したりしながら、満足するまでつくり続ける姿
- 4 展開

学習活動と子どもの意識	指導上の留意点
<p>1 本時の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お腹がいっぱいになったり、減ったりするお父さんのおもちゃをつくりたいな。 <p>2 自分がつくりたいおもちゃに合わせて、つくり方を自分で決めてつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・袋が膨らみすぎてお腹に見えないから、おなか一杯になって膨らんでいる感じにするには、袋をテープで留めると膨らみすぎないかな。 ・お腹が動いても手が取れないように、紙を長めにして、腕をつくろう。 ・友達の膨らむパンケーキの作品は、袋が外側から見えないので、膨らむ動きが不思議に見えるな。僕も、服をつくって、膨らむお腹を隠したら、もっと面白い感じになるかな。 <p>3 本時の活動を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・僕の工夫したことは、お腹がいっぱいになった感じになるように、箱から出る袋の量を、テープで留めて調整したことだよ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分のつくりたいおもちゃを具体的にイメージできるように、自分のつくりたいおもちゃについて、黒板に記述する時間を確保する。 ○自分のつくりたいおもちゃのイメージに合った膨らむ動きの仕組みをつくれるよう、膨らみ方を繰り返し試している子どもを称賛する。 ○自分のつくりたいおもちゃのイメージに合わせてつくることのできるよう、飾りのつくり方を変えたり、作品を見直したりしている子どもに意図を問いかける。 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">評価項目</p> <p style="text-align: center;">自分のつくりたいおもちゃに合わせて、仕組みを動くようについたり、自分なりに工夫して飾りをついたりしている。</p> <p style="text-align: right;"><作品・行動・発言①></p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○自分や友達の作品やつくり方のよさに気付けるよう、自分や友達の作品を見合い、自分なりに工夫したことを黒板に記述する時間を確保する。

指導と評価の計画（全6時間）

目標	袋に空気を送って膨らむ仕組みを使って，膨らむ動きの面白さを生かした動くおもちゃをつくる。			
評価規準	(①知識及び技能)自分がつくりたいおもちゃに合わせて，仕組みをつくったり組み合わせたりして，おもちゃをつくっている。 (②思考力，判断力，表現力等)膨らむ動きの面白さを見付け，その面白さを生かしたつくりたいおもちゃを思い付いている。 (③主体的に学習に取り組む態度)自分や友達の思い付いたことや工夫のよさや面白さを感じ取っている。			
財・考方	感性や想像力を働かせ，仕組みの動き，材料の形や色，大きさ，強さについて捉え，自分のイメージをもちながらつくること			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)>
であう あらわす・ひろげる	2	○仕組みを試しにつくる。	○動きの面白さを生かしたつくりたいおもちゃのイメージを思い付けるよう，袋に空気を送って膨らむ仕組みを開発する活動を設定する。	◇膨らむ仕組みをつくりながら，膨らむ動きで遊んだり，つくりたいおもちゃのイメージや作り方について発言したりしている。 <作品・行動・発言②>
	3	○自分がつくりたいおもちゃに合わせて，仕組みや飾りをつくる。 本時2/3	○子どもが，自分の必要に応じて新たな工夫をしたり，新たなイメージを膨らませたりすることができるよう，つくる場を放射状に配置する。	◇自分のつくりたいおもちゃに合わせて，仕組みを動くようについたり，自分なりに工夫して飾りをつくったりしている。<作品・行動・発言①>
ふりかえる	1	○自分のつくったおもちゃの取扱説明書をつくり，展示会を行う。	○自分や友達の作品や工夫のよさを感じ取ることができるよう，自分や友達のつくったおもちゃを見合う活動を設定する。	◇自分や友達の作品や工夫によさや面白さについて，記述したり発言したりしている。 <行動・学習プリント③>
共通事項	ア 自分の感覚や行為を通して，形や色などの感じが分かる。 イ 形や色などの感じを基に，自分のイメージをもつ。			



作品



仕組み